

公開授業	6年 ○組	授業者	佐藤 敬
主題名	度を過ぎさない 内容項目 1 - 思慮・節制		
資料名	友也とパソコン		
ねらい	パソコンに興味を持ち、次第にのめり込んで友達関係や体調を悪化させたことに反省する友也に共感することで、節度を守り節制に心がけようとする態度を育てる。		
	学習活動と主な発問		授業の工夫・観点
導入	<p>現在、興味をもったり夢中になったりしていることを交流する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カードゲーム ・野球・サッカーなどのスポーツ ・化石探し ・お買い物 ・リコーダー 		<ul style="list-style-type: none"> ・頻度などを問い返し、他のことに手がつけられないぐらいになっていないかを振り返らせる。
展開前段	<p>資料「友也とパソコン」を聞く。</p> <p>友也は、どんな気持ちで注意しようとした母の言葉をあわてて遮ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しんでいるのだからいいじゃないか。 ・宿題をきちんとやるからいいじゃないか。 ・楽しんでいるのに、注意されるのは嫌だ。 <p>どんな気持ちで、友達の誘いをそっけなく断ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・川まで行かなくてもパソコンでできるよ。 ・パソコンの方が簡単に調べられるよ。 ・パソコンは速いし、楽しい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・どうしてあわてて遮ったのかを考えさせ、友也が何よりもパソコンに夢中になっていることを気付かせる。 ・パソコンの便利さや楽しさなども想起させ、夢中になっている友也の気持ちや言動に共感させる。 ・自分が夢中になっていることへの周りの反応や自分の思いなどを振り返らせる。
展開後段	<p>はっと胸を打たれた友也は、どんな事を考えたのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンに夢中になり過ぎたな ・友達に申し訳ないな、あやまるう ・パソコンもいいけど友達も大切にしたい ・夢中になるのも、ほどほどにしよう。 <p>自分の夢中になっている事に、これからどのような気持ちで取り組んでいったらよいですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分のことだけを考えないようにする。 ・夢中になるのも、度をこさないようにしたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・友也の考え方や態度が、友達関係だけでなく、自分の体調も崩していくことになったことに気付かせる。 ・パソコンに熱中しすぎていたことや友達や姉のことを考えない言動を振り返る友也の気持ちに共感させる。振り返りだけでなく次にどのように生かしていくかも考える。 ・文章に書くことで自分の経験を振り返る時間を確保して、これからの言動について今後生かせるようにする。
終末	教師の説話を聞く。		